

W.W.D. 7/18号

# テーマは「Colorful Graphic」——シャルル・ジョルダン'88秋冬コレクション

東京発—シャルル・ジョルダンの日本でのトータルコレクション発表に合わせて、海外からスナップがら名無し。7月13日、ラフォーレ赤坂において記者会見及び'88秋冬コレクションが開催された。

フランスからは、ハンリー・パークアー、シャルル・ジョルダン代表取締役社長、フランソワ・バスマール、シャルル・ジョルダン、ポール・アノー、シャルル・ジョルダン、ジャン・クナップ、ライゼンズ代表取締役、ソニア・クナップ（シャルル・ジョルダン、デーブ・ニューボネーター）の4名、他にアメリカからジョー・ムーア（シャルル・ジョルダン、S.A.社長）、牧野元（シャルル・ジョルダン社代表）も加わった記者会見となった。

この日より社長に就任したバーグアールは、全ヨーロッパ、ファッション・アイテムを



レディス、メンズのフレタホルテと共に発表されたこのコレクションは、モデルにクナップを起用したニュークを演出

クリエートするに至った我々の使命は、顧客にトータルなライフイメージを提供することだ」と語った。

同ブランドのこの様な戦略の裏付けとして88秋冬から起用されたのがソニア・クナップ。彼女はレディス・アイテムの全てのデザイン

一を玩活する立場にある。ファンガロのフリップ・デザインを究めた経験を生かし、フレタホルテを中心に手廻を繰返している。彼女が語ったファッション観は「トータル・ファッションとは単に外見だけでなく、可能にも調和している」ということ。現代女性が求めていることとして、多様なスタイル、アイテムで表現しようとしているトータル・アイテムでお手頃したい、手裏されたコレクションのテーマ「カラフル・グラフィック」は色数のみでなく素材の多様性をも表したものの。

コンビッド・カラーとレトロな雰囲気のスタイルが、却ってモダンな印象と、同様な温かさの両面を伝える。素材はレディスが特に多様で、ツイード、ベルベット、レザー、ニット等を用いてコンテンポラリーなスタイルを提案していた。レディス・フレタホルテは最近

同ブランドの中でも注目されている分野である。

特徴的な伸びを示すアハレルはグループ連結決算中、現在総売り上げの10%を示める。これを今後5年間で30%まで引き上げる予定であり、積極的にフレタ市場参入を図る。

日本では今のところ、靴、皮革小物、フレタ・アクセサリーの3分野が冬々売り上げの3分の1ずつを占めると、球屋社長日代表。日本では昨年より展開し始めたメンズブランド、ムッシュミについては、現在4店舗の直営店を4年後には10店舗まで増やす」と同氏。U.S.A.のムーア社長によるとアメリカでレディスを中心にフレタは好調。

バーグアール社長は、「デザイン、品質、流通サービス全ての面でトップクオリティを目指し、将来は中東米や共産圏への市場参入も考えている」と語った。

